

平成28年7月7日

【県内地銀最多】

「M&Aシニアエキスパート」有資格者が13名に！

～ 事業承継コンサルティング機能をさらに強化 ～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、一般社団法人 金融財政事情研究会が実施する「M&Aシニアエキスパート」認定試験において、今般、営業店で活躍する支店長を中心に、10名の行員が合格しましたのでお知らせいたします。

これにより、当行在籍の有資格者は13名となり、県内地銀において最多となっております。

当行のお取引先を取り巻く経営環境は、少子高齢化、人口減少、規制緩和による企業間競争の激化・淘汰など、今後大きく変化することが予想されます。これらの諸課題を乗り越え、さらに発展・成長をめざす県内企業のお役に立つため、当行は本年4月より、中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2019」をスタートさせました。

このなかで、地元企業の事業承継・事業拡大に対する課題解決策の一つとして「M&Aコンサルティング業務」の強化を掲げており、本部内にはM&A専担者を配置し支援体制の強化を図っております。こうした取組みにより、平成28年5月には株式会社日本M&Aセンターより、「第4回バンクオブザイヤー表彰式」において「情報開発大賞」を受賞いたしました。

当行は、引続き「コンサルティング・バンクの確立」に向け、より高度な経営相談にお応えできるよう、コンサルティング機能をさらに強化してまいります。

※M&A… 企業の合併や買収の総称。広義には事業譲渡、資本提携、業務提携等も含まれる。

～ 「M&Aシニアエキスパート」資格とは～

一般社団法人 金融財政事情研究会が、講習および試験を通じて認定する制度です。本認定制度は、中小・零細企業の適切・円滑な事業承継・ビジネスマッチングを支援する人材、とりわけ事業承継対策の重要な選択肢の一つであるM&Aに精通した人材の養成を図ることにより、中小・零細企業の経営の安定・持続的成長、経営者・従業員の生活基盤の安定、ひいては日本経済の持続的発展・成長に資することを目的としています。

以上